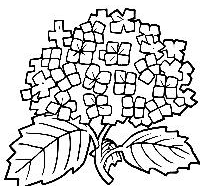


図書館だより

第2号 2021年6月10日発行 江津工業高校図書館



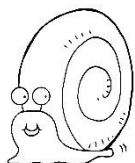
NIE活動が始まります

学期に2回程度、NIE活動の日を予定しています。

第1回目は6月14日です。この日は時程が一部変更になります。

NIE活動	8:50~9:00
HR	9:00~9:05
1	9:10~10:00
2	10:10~11:00
3	11:10~12:00
4	12:10~13:00
昼休み	13:00~13:35

5限以降は通常通りの時程



NIEとは

NIE(=Newspaper in Education)は、学校などで新聞を教材として活用する活動です。本校では時間内に記事を読み、その感想を記述して提出してもらっています。このことで下の①②のような力や効果を期待しています。

- ①新聞記事の内容を理解し、自分の感想や考えを表現する力をつける
- ②社会に関心を持ち、自分のあり方や生き方を考え社会とつながるきっかけとなる

新聞の構成

新聞記事は「見出し」「リード(前文)」「本文」で構成されているものが多いです。

新聞は「5W1H」が明確になるよう意識されているため、話題のポイントが的確に伝わるように工夫されています。次は5月31日付けの山陰中央新報です。大田市での全国植樹祭のニュースですが、天皇陛下と皇后陛下がオンラインで参加されたこと、植樹祭の目的等が一目で簡潔に分かるように作成されています。

山陰中央新報(2021年5月31日 一面より)

読み方

○本校のNIE活動の場合

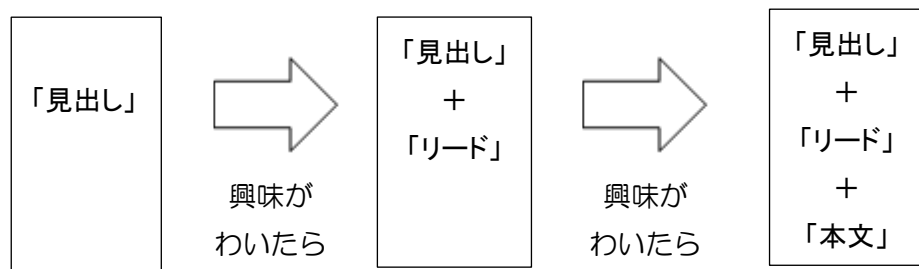
記事が指定されているため、見出し→リード→本文 の順番で読みましょう。

見出し・リードがない場合は本文を最初から最後まで。

○日常生活で新聞を読む場合

文章量は新書1.5～2冊分です。すべての記事をしっかり読むとかなり時間がかかります。

効率よく読むためには見出しで一通りニュースをチェックし、その中でも興味がある記事を読むようにしましょう。新聞は大事なことは初めに書かれています。最初だけでも読む価値があります！



このような流れで記事を読むと1日のニュースをチェックしつつ、自分の気になる内容をじっくり読むことができます。

【参考文献】

『僕らが毎日やっている最強の読み方 新聞・雑誌・ネット・書籍から「知識と教養」を身につける70の極意』池上彰・佐藤優著 東洋経済新聞社 2016.12

『図書館からはじまる「学び」のガイド』島根県高等学校図書館研究会 2015.4

【参考サイト】

新聞の作り方ーしまね小中学生新聞コンクール

<https://ww2.sanin-chuo.co.jp/page/contest/page9.html> (閲覧日 2021.6.1)

江工図書館にある新聞

本校の図書館には山陰中央新報 読売新聞 朝日新聞 毎日新聞 の4紙が置いてあります。同じ事柄を扱っていても新聞社によって主張が異なることもあります。読み比べてみると結構面白いですよ。新聞に慣れてきたら、2紙は読んでみてほしいです。

おすすめ本

スマホを一人一台持つような時代になりました。新聞をわざわざ読まなくてもスマホでニュースをチェックできると思う人も多いのではないのでしょうか。スマホにはスマホの、新聞には新聞の、本には本の良さがそれぞれあります。たくさんのツールがあるのでそれぞれ適した使い方をして情報を見極める力を養ってください。

『スマホ脳』

アンデシュ・ハンセン／著 久山葉子／訳 新潮社 2020.11

世界的ベストセラー！

スティーブ・ジョブズは我が子に iPad を触らせなかった？

1日に平均4時間も使っていると言われるスマホ。なぜ人はスマホに時間を費やすのか、スマホの便利さに溺れている間に何が起きているのか。これからスマホとどのように付き合っていくべきか考えさせられる本です。

